

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 武富 順二

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	46,684	3.6	3,157	27.0	3,558	40.3	2,421	58.5
25年3月期第1四半期	45,083	10.4	2,486	12.3	2,536	10.9	1,528	13.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 4,103百万円 (119.0%) 25年3月期第1四半期 1,873百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	23.44	—
25年3月期第1四半期	14.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	227,713	140,082	59.6
25年3月期	222,604	137,227	59.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 135,640百万円 25年3月期 133,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,000	7.4	5,600	18.8	5,500	22.8	3,700	53.7	35.82
通期	200,000	8.2	12,500	26.8	12,800	13.0	8,600	12.9	83.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	103,651,442 株	25年3月期	103,651,442 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	363,544 株	25年3月期	363,303 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	103,287,970 株	25年3月期1Q	103,288,497 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、米国では底堅く推移したものの、欧州の景気回復の遅れと中国経済の成長鈍化などにより、総じて弱い動きとなりました。国内では経済対策効果や消費者マインドに改善の兆しも見られ始めるなど、明るさを取り戻しつつあるものの、円安の影響を受けて原材料の価格上昇もあり、予断を許さない状況が続きました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、国内及び欧州市場の低調を北米やアセアン地域が補い、好調に推移しました。IT・デジタル家電分野は、スマートフォンやタブレット端末の販売が好調であったことから、堅調に推移しました。製パン・製菓関連分野は、国内需要が横ばいで推移しました。

このような状況のなか、当社グループはブラジル現地法人の業務開始、中国での酸化防止剤製造設備の増設など、海外展開の拡充を強化してまいりました。

本年度は、2012（平成24）年度からスタートした中期経営計画「STEP 3000」にもとづき、売上高2,000億円達成を目標に挑戦してまいります。2016（平成28）年度売上高3,000億円達成を目指す上でも重要な年と位置付けていることから、中期経営計画の5つの方針（海外展開の拡充、技術力の強化、顧客価値の創造、M&Aを含む戦略的投資、人財育成）にもとづき、これまで打ってきた施策の成果を果実として着実に収穫するという考えのもと、各施策を推し進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は466億84百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は31億57百万円（同27.0%増）、経常利益は35億58百万円（同40.3%増）、四半期純利益は24億21百万円（同58.5%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、324億51百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は25億56百万円（同25.5%増）となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンやタブレット端末の販売拡大に伴い、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に販売数量は高い水準で推移しましたが、価格競争の影響を受け、販売価格が低下しました。プリント基板用のエッチング薬液は国内需要の減少と価格競争の影響を受けて、低調に推移しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は競争力の高い独自製品が伸長しました。

情報・電子化学品全体では、前期に比べ減収増益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、北米やアセアン地域などでの自動車生産の拡大に伴い、光安定剤など高機能添加剤を中心に伸長しました。界面活性剤は、国内外において化粧品材料が伸長しました。潤滑油添加剤は、自動車の省燃費に対する消費者の意識の高まりと、海外における新規顧客の獲得などにより、販売数量は高い水準で推移しました。機能性樹脂は、水系ウレタンは好調でしたが、国内需要の低迷により総じて低調に推移しました。

機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類などは、国内需要が減少したことに加えて、原材料価格が上昇したことにより低調に推移しました。過酸化水素及びその誘導品は、紙パルプ向けの販売数量が低調に推移しました。

基礎化学品全体では、前期に比べ減収となり、営業損失となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、134億22百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は5億53百万円（同54.3%増）となりました。

円安による原材料価格の上昇や、国内需要の伸び悩みもあり厳しい状況ではありましたが、顧客ニーズを捉えたバター風味豊かなマーガリンや口溶けの良いホイップクリームを中心に販売数量が伸長しました。加えて、継続的なコスト削減への取り組みなどにより、食品事業全体では前期に比べ増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ51億8百万円増加（前期比2.3%増）し、2,277億13百万円となりました。有価証券の減少を上回る現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前期末に比べ22億54百万円増加（同2.6%増）し、876億30百万円となりました。短期借入金及び長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前期末に比べ28億54百万円増加（同2.1%増）し、1,400億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,311	31,827
受取手形及び売掛金	39,839	41,052
有価証券	7,230	3,732
商品及び製品	17,095	17,682
仕掛品	4,282	4,624
原材料及び貯蔵品	13,473	13,732
その他	6,367	6,652
貸倒引当金	△307	△331
流動資産合計	116,293	118,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,677	21,090
機械装置及び運搬具（純額）	22,761	22,780
土地	20,800	20,797
その他（純額）	7,744	8,798
有形固定資産合計	71,983	73,466
無形固定資産		
のれん	245	254
その他	3,226	3,188
無形固定資産合計	3,471	3,442
投資その他の資産		
投資有価証券	24,429	25,048
その他	6,427	6,783
投資その他の資産合計	30,856	31,832
固定資産合計	106,311	108,741
資産合計	222,604	227,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,535	31,967
短期借入金	13,476	14,511
未払法人税等	1,700	1,466
賞与引当金	1,948	987
その他の引当金	48	13
その他	5,389	7,419
流動負債合計	55,099	56,365
固定負債		
長期借入金	13,377	14,210
退職給付引当金	9,400	9,586
その他の引当金	106	102
その他	7,392	7,366
固定負債合計	30,277	31,265
負債合計	85,376	87,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	85,660	86,846
自己株式	△224	△225
株主資本合計	128,260	129,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	2,079
土地再評価差額金	3,697	3,794
為替換算調整勘定	△746	320
その他の包括利益累計額合計	4,819	6,193
少数株主持分	4,147	4,442
純資産合計	137,227	140,082
負債純資産合計	222,604	227,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	45,083	46,684
売上原価	35,562	36,252
売上総利益	9,520	10,431
販売費及び一般管理費	7,034	7,274
営業利益	2,486	3,157
営業外収益		
受取利息	25	31
受取配当金	113	120
持分法による投資利益	31	144
為替差益	—	255
その他	81	99
営業外収益合計	252	650
営業外費用		
支払利息	98	106
為替差損	13	—
その他	90	143
営業外費用合計	202	250
経常利益	2,536	3,558
特別損失		
有形固定資産除却損	36	5
投資有価証券評価損	258	—
特別損失合計	295	5
税金等調整前四半期純利益	2,241	3,552
法人税、住民税及び事業税	899	1,340
法人税等調整額	△227	△334
法人税等合計	671	1,006
少数株主損益調整前四半期純利益	1,569	2,546
少数株主利益	41	124
四半期純利益	1,528	2,421

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,569	2,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△663	183
為替換算調整勘定	993	1,346
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	27
その他の包括利益合計	304	1,557
四半期包括利益	1,873	4,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,655	3,698
少数株主に係る四半期包括利益	218	405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,009	13,073	44,082	1,001	45,083	—	45,083
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	18	216	2,573	2,789	△2,789	—
計	31,206	13,092	44,299	3,574	47,873	△2,789	45,083
セグメント利益	2,037	358	2,395	93	2,489	△2	2,486

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,451	13,422	45,874	810	46,684	—	46,684
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	166	32	198	2,563	2,762	△2,762	—
計	32,617	13,455	46,072	3,374	49,446	△2,762	46,684
セグメント利益	2,556	553	3,109	32	3,141	15	3,157

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。